

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Aコート	第6試合 16:30~									
<チームA> 京北 東京 3位		87 { <table border="0"> <tr><td>1Q</td><td>26</td></tr> <tr><td>2Q</td><td>32</td></tr> <tr><td>3Q</td><td>21</td></tr> <tr><td>4Q</td><td>22</td></tr> </table> } 101		1Q	26	2Q	32	3Q	21	4Q	22	<チームB> 県立取手松陽 茨城 1位	
1Q	26												
2Q	32												
3Q	21												
4Q	22												

【Aブロック】

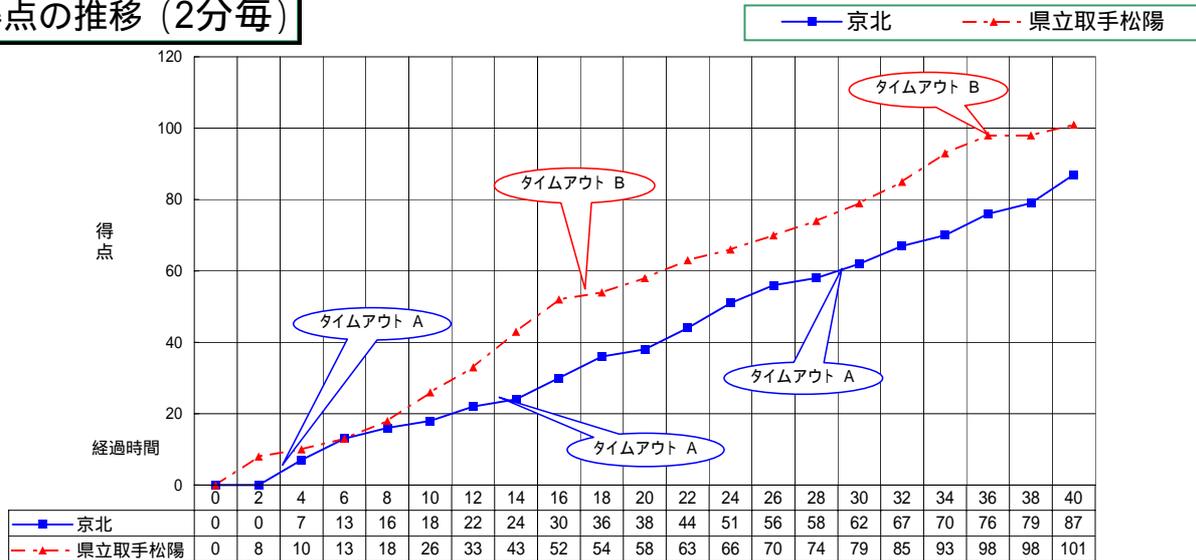
主審：伊橋 隆浩(千葉) 副審：河野 仁(山梨)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	萩原 和也	10		4	2	2
	5	工藤 竜二	2		1		
	6	目 健人	30	4	7	4	4
	7	池田 龍之介	27	3	9		4
	8	平久保 秀紀	4		2		1
	9	前川ジェシィ					2
	10	皆川 徹	12		6		5
	11	田辺 勇海					3
	12	加藤 元気					
	13	中満 翔太郎					
	14	福田 皓平					
	15	佐藤 祥					
	16	山中 悠平	2		1		1
	17	菅野 駿平					
	18	山内 翼					
コーチ		田渡 優					
合計			87	7	30	6	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	飛田 浩明	32	5	5	7	
	5	来栖 翔太	14	2	4		1
	6	松岡 一成	21		9	3	3
	7	牧山 康太	11	1	4		1
	8	畑 昂志	12	1	4	1	2
	9	馬場 慶司					
	10	斉藤 竜之介	2		1		1
	11	斉藤 弘樹					
	12	小川 俊樹	6		3		2
	13	小島 慎太郎					1
	14	串田 巨至	2			2	
	15	豊田 稔朗					
	16	青野 友彦					
	17	土方 正憲	1			1	
	18	斉藤 大樹					
コーチ		佐藤 豊文					
合計			101	9	30	14	

：スターター / 出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦評

記入者： 中山 徹也

第1P、ディフェンスは京北オールコート2-2-1ゾーンプレス~ハーフコート2-1-2ゾーンに対し、取手松陽(以下 松陽)はオールコートマンツーマンとカウント・オールコート2-2-1ゾーンプレス。立ち上がりは松陽が 牧山、飛田の連続3pシュートなどで0-10とリード。京北はタイムアウト後、落ち着きを取り戻し、目の3pシュートや速攻などで5分10-10と一気に追いつく。ここからは一進一退の攻防、京北は 池田の3pシュートや 皆川のゴール下で得点するが、松陽も飛田、畑が3pシュートを立て続けに決める。18-26と松陽がリードを奪い、第1P終了。

第2P、松陽は出だしから、松岡のリバウンドシュートなどで11点差とする。松陽のハーフコートマンツーマンに対し、京北はミスマッチの 皆川にボールを集め、対抗する。しかし、2分過ぎに松陽 飛田のリバウンドシュートが決まり、22-35となったところで京北はタイムアウト。流れを変えようとするものの松陽 来栖、飛田の3pシュートが立て続けに決まる。京北ゴール下 皆川にボールを集める攻撃は効果的に決まるものの松陽の勢いは止められない。京北はディフェンスをオールコートマンツーマンに変えるが、松陽はナンバープレイを連続して決め、主導権を渡さない。38-58松陽リードで前半を終了。

第3P、立ち上がりは京北ペース。 皆川のインサイドを起点に、目がドライブイン、3pシュートを決め、3分過ぎには51-63と12点差まで詰め寄る。しかし4分過ぎ、京北 皆川がファウルアウト。その後、松陽 来栖、松岡のゴール下でのシュートが決まり、再び、差が広がる。62-79松陽リードで第3Pを終了した。

第4P、京北はオールコート1-2-2ゾーンプレスで反撃を試みるが、高さのプレッシャーから開放された松陽が 牧山のドライブイン、松岡のゴール下でのシュートなどを立て続けに決め、更に点差を広げる。京北も 目、池田がドライブインや3pシュートを決め、対抗するが、流れを引き寄せられるまでには至らない。最後は控えのメンバーを出す余裕を見せた地元松陽が87-101で勝利した。第2Pの3pシュートの決定力が勝敗を決めた試合だった。